

2022年度 事業者 評価結果

放課後等ディサービス かのん 評価表(事業者)

回収率 100%

(職員数8人 提出者8人)

		チェック項目		はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など	改善策
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか			8	0	0		
	② 職員の配置数は適切であるか			6	2	0	必要に応じてパートを配置する	必要に応じてパート職員を配置する
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			3	4	1	玄関以外はバリアフリーになっており、手すりや角コーナーがついている	民家であるが利用者の身体の状況を考え対応する
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			5	3	0		定期的な見直しや工夫できるところを改善していく
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			8	0	0		保護者の意見を参考に改善していく
	⑥ この自己評価表の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか			7	1	0		youtube「放課後等ディサービスかのんチャンネル」で公開している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			2	3	3		地域の方に評価していただくよう計画していく
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			7	1	0	外部研修への参加を促す 必要がある	定期的な研修会を実施できるよう計画していく
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか			6	1	0	子どもの実態や保護者の意見を聞き作成する	子どもの実態や保護者、医療機関等の意見を聞いて作成していく
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			5	1	1	全職員が把握できるよう細かかなアセスメント用紙の作成	アセスメント用紙に細かく記入してもらい全職員が把握できるようにしていく
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか			7	0	0	利用者の実態や状況を見て担当講師に伝え立案していく	利用者の実態や状況を観ながら計画していく
適切な支援提供	⑫ 活動プログラムが固定しないように工夫しているか			7	1	0		様々な意見を聞き入れ改善に取り入れていく
	⑬ 平日、休日、長期休暇中に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			5	3	0		平日の場合と休日の場合で利用者の実態に応じた支援の在り方を工夫していく
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成しているか			5	3	0	「子供の状況に応じて」の過ごし方はとても子供たちが楽しくしていると思った。集団活動、個別活動も部屋が分かれていることがいいと思った。	個別の課題と集団内での課題を把握し、計画的に実行していく
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか			4	4	0	パート職員にも把握できるように伝えている	毎朝の朝礼でパートの方にも十分把握できるように確認をして支援していく
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			3	5	0	前日の反省や情報共有は次の日の朝礼時に実行している	前日の反省や情報共有を次の日に実行
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			8	0	0		支援の記録を正確に記録して適切な支援の在り方などを日々検討していく
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			7	1	0	モニタリング以外にも課題が見出せた場合は適時見直しを行う	モニタリング以外にも課題が見出せた場合は適時見直しを行う
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか			7	1	0		効果的な発達支援ができるように組み合わせた独自の方法を取り入れる
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			7	1	0		
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			8	0	0		学校への連絡や月の行事、下校時間を見直し確認があるばあには保護者にも確認していく
関係機関や保護者との連携機関や保護者との連携	㉒ 医療的ケアの必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				3	2	該当しない	必要な場合は医療と連携を図る
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報と相互理解に努めているか			4	0	3	相談員を通じて情報の把握	新一年生の児童が利用になった場合は連携して情報の把握をして務める
	㉔ 学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			8	0	0	卒業後の就職先や福祉サービス事業所に情報提供を行なう。学校を卒業した児童の書類を見ていよいよ	より良い支援ができるように卒業後の就職先や福祉サービス事業所に情報提供を行なう
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			3	3	2		計画的に研修等を受講する
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもも活動する機会があるか			2	1	4	(スタッフの)娘に子どもたちが近づいてく れて優しく接してくれている	今年度は近隣の児童クラブとの交流は計画する
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			1	2	4		計画的に参加する
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解を持っているか			8	0	0	送迎時、又はLINEにてその日の様子を伝えている(写真・動画)	
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っているか			4	2	2		モニタリング時は行っているが、継続できるようにする
	㉚ 運営規定、支援の内容、利用者負担金等について丁寧な説明を行っているか			7	1	0		機会あるごとに説明していく
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			8	0	0	LINEや電話で相談を受け、スタッフ内で共有している	個々の状況、環境に配慮して助言し支援に努める
保護者への説明責任等	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	1	0	クリスマスコンサートはできましたが「ママたちのコンサート」はできなかつた	来館しやすい曜日などを設定する
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しているか			8	0	0		今まで苦情はないが、苦情に対応する委員会などの体制を説明していく
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			6	1	0		SNSを駆使して情報を知らせる
	㉟ 個人情報について十分注意しているか			8	0	0		パソコンや個人情報の管理は日々のチェック等で確認する
	㉟ 障害のある子どもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮を図っているか			8	0	0		
	㉟ 事業所の行事に地域住民を紹介する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	2	1	クリスマスコンサートを行なった	今以上に地域の方には案内できるようにしていく
	㉟ 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			5	3	0	保護者へ周知しているか不明	利用者や職員が参加できるよう日程の調整をする
非常時等の対応	㉟ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			8	0	0	避難訓練のSSTが分かりやすかった こどもたちもスムーズに避難訓練ができました	同じ訓練でも利用者が全員できるよう日程を調整する
	㉟ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			8	0	0		リモートでの研修を計画して職員全員が参加できるようにする
	㉟ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか			8	0	0		保護者への説明は利用開始時にを行い具体的な事例等は研修会で確認していく
	㉟ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			2	5	1	該当なし	保護者からの情報だけでなく医療機関にも可能な限り確認する
	㉟ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			6	0	2	その日のうちに作成し全職員で共有	事例は積み上げているので定期的に全職員で確認して再発しないようにする